

✧ 海外ニュース ✧

ドイツ 2016年8月29日 Zeit オンライン版

■ 連邦政府、カーシェアリング車両のための優遇措置を計画

Bundesregierung will Carsharing-Autos besserstellen

ドプリント連邦交通相はカーシェアリング法の草案の中で、専用駐車スペースの確保や、利用料の支払い免除を提案している。その狙いは「何よりも自家用車の交通量を削減することであり、これにより気候保護と大気汚染防止への効果」が期待できる、と法案には書かれている。カーシェアリング車両1台の導入は、平均して自家用車15台の削減に繋がるという。

フランス 2016年9月1日 Goodplanet

■ 交通：野生動物との衝突を回避するレーダー

Circulation : des radars pour éviter les collisions avec le gibier

道路に近づく動物を検知し、ドライバーに電光掲示板を通じて警告する——この種の装置が大型動物との衝突事故を減らすためにイゼール県に設置された。これは交通安全、物的損害、生物多様性の各要素を併せ持つ課題である。

スペイン 2016年9月8日 abertis

■ アベルティス、A4ホールディング株51.4%の取得完了、イタリアへの参入を確実に

Abertis cierra la adquisición del 51,4% de A4 Holding y confirma su entrada en Italia

アベルティスはイタリアの産業グループA4ホールディングの51.4%の株を持つ2社の株を、インテサ、アスタルディおよびタバッキ・ファミリーから取得した。同グループの主な資産は有料自動車道路A4号線、A31号線である。去る5月に発表されたこの買収は、総額5億9,400万ユーロを2023年に支払うことで完了する。

フランス 2016年9月9日 Le Figaro

■ ヴァンシ、コロンビアで13億ユーロの契約を獲得

Vinci : un contrat de 1,3 md € en Colombie

ヴァンシ社は、期間30年の官民協働契約からなる本プロジェクトには65kmにわたる第3車線の建設と、ボゴタとヒラルドを結ぶ141kmの高速道路の運営が含まれると発表。さらに、コンソーシアムはヴァンシ・ハイウェイズ社（出資比率50%）とコンストラクタ・コンコンクレート社（同25%）およびインドゥストリアル・コンコンクレート社（同25%）から構成されていることを強調した。

ドイツ 2016年9月12日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ トラック課金による収入が若干の減少

Einnahmen aus Lkw-Maut leicht gesunken

その理由は、有害物質の排出量に応じて等級づけられている課金額が引き下げられたことにある。課金収入からの資金を最も多く享受しているのはバイエルン州だ。連邦交通省が連邦議会に報告したところでは、課金収入は43億9,000万ユーロに上った。2015年7月には課金対象区間が全長1,100kmの連邦道路分延長され、また10月には対象となるトラックの重量規準が7.5トン以上に引き下げられた。だが、これらの措置による課金対象の拡大は収入の減少を完全に補うことができなかったことになる。

スペイン 2016年9月12日 Cinco Días オンライン版

■ アベルティス、英国最大の有料自動車道路に今月入札を検討

Abertis estudia ofertar este mes por la mayor autopista de Reino Unido

分析に基づき行うアベルティス社の新しい活動は、競争入札に参加し、英国の M6 有料道路のような、財政的視点から見てストレスに苦しんでいる資産を獲得することである。

ドイツ 2016年9月13日 Verkehrsrundschau オンライン版

■ ドブリント連邦交通相、ドライバーなしでの車庫入れを可能に

Dobrindt will fahrerloses Einparken ermöglichen

アレクサンダー・ドブリント連邦交通相（キリスト教社会同盟 /CSU）は、ドライバーの手を全く借りずとも車庫入れのできる新たなシステムを可能にしたいと考えている。ドイツ通信社（dpa）は自律走行導入に向けて交通省の策定した法案を入手したが、ここには、パーキングビルや地下駐車場などの「低速運転領域」において自動運転機能を利用するために法的基盤の整備に着手すべきと書かれている。

ドイツ 2016年9月21日 Zeit オンライン版

■ 自律走行：ハイテク・マシンへと変貌するトラック

Autonomes Fahren : Der Laster wird zum Hightechgerät

ポッシュ社がこのモーターショーで発表した試作品「VisionX」は、10年後の未来にトラックがどのような機能を担っている可能性があるかを示すものだった。ルートや、渋滞、迂回路、また目標地での荷下ろしの可能性についてなどの情報が、すべて刻一刻と車両に届けられる。このため交通状況に応じて、また荷積みの場所が更新された場合にも、これに対応して走行ルートを最善のものに変更することができるのだ。ポッシュ社では最大10%の経費削減が達成可能と考えている

フランス 2016年9月23日 Vinci

■ ストップ！今年に入って 38 台ものヴァンシ高速道路会社の作業車両が衝突事故に遭遇

STOP! 38 véhicules d' intervention de VINCI Autoroutes heurtés depuis un an

フランス国内のコンセッション方式の高速道路全体で、毎年 100 台を超える作業車両が衝突事故に遭遇している。2016 年に入ってから、ヴァンシ高速道路会社が運営する高速道路だけでも 38 台が衝突されている。高速道路作業車両が巻き込まれる事故は多くの場合、日中、見通しのよい場所で起きており、作業車両の存在を知らせる表示装置も作動している（回転警光灯、バンのルーフに設置される電光矢印板など）。これらの事故の多くは、ドライバーの不注意や居眠り運転を直接の原因とするものだ。このような危険な運転行動が減少することはなく、逆に携帯電話やタブレット端末、DVD プレーヤーなど、「注意力を散漫にさせるもの」にまつわる危険な運転は増加している。

ドイツ 2016年9月24日 Zeit オンライン版

■ トラック：車両の周囲にバーチャルなクラッシュブルゾーン

Lkw : Eine virtuelle Knautschzone um den Laster

運転支援システムを活用すれば、トラックの関与した重大事故の多くを防ぐことが可能だ。ハノーファー国際商用車ショーでは、ドライバーの死角に潜む脅威を緩和する方法を、メーカー各社が展示している。ドイツ保険協会（UDV）の事故研究部門によれば、こうした事故の少なくとも 43% は、右左折時衝突防止支援システムの利用により回避することができるという。